

(公財)京都市森林文化協会	平成29年度経営計画 兼 経営努力結果
---------------	------------------------

**基本事項**

所管局課	産業観光局農林振興室林業振興課	本市出えん金	50,000 千円
基本財産/資本金	50,000 千円	本市出えん率	100.0 %

**「外郭団体のあり方の抜本的な見直し」に係る「今後の方向性」**

方向性	自律化	目標年度	平成32年度
-----	-----	------	--------

**「今後の方向性」に向けた基本的方針**

業務面	公益財団法人として掲げる森づくり事業やイベント事業、森林体験支援事業等の各公益目的事業の推進と一体的に、宿泊休養施設をはじめ各収益施設の利用者数の増加を目指す。
財務面	経営の安定化を図るため、収益事業等を中心に独自収入を増加させ、現在の短期借入を解消し、安定した経営を目指す。
組織面	公益目的事業を専門的に担える人材を育成するとともに、各事業の運営状況に合わせて適切な職員配置を行う。
その他	特になし

**当年度の取組目標に対する意見**

所管局	京都市左京区北部山間地域の各種団体と連携した新たな取組、体験農園の運営、「京都丹波高原国定公園」の案内機能を高めることなど、新たな取組を展開し、利用者の拡大を目指す点が評価できる。 今後も収益事業の増収増益を維持し、経営の安定に努めていただきたい。
-----	---

**当年度の取組に対する総括(※)**

団体(※)	安定的な財団運営の要となる収益事業が赤字となったが、利用者の満足度は向上している。施設の魅力を広く発信することが重要課題である。
所管局(※)	収益事業の一つであるイベント事業について、樹高日本一の「花脊の三本杉」関連の新しいイベントを開催し、イベント参加者数の増大を図れた。正規雇用者を増やすことにより赤字が発生しているが、今後収益事業により力を入れ、今後も経営の安定に努めていただきたい。
外郭団体総合調整会議(※)	これまで順調に増加していた山村都市交流の森の入園者数及び宿泊施設利用者数について、平成28年度以降、2期連続して減少している。 魅力的な体験型のイベント開催や「花脊の三本杉」などの地域の観光資源の活用、積極的な営業活動により、利用者数の回復・増加に取り組んでいく必要がある。 今後の自律化に向けて、速やかに黒字回復を目指して、自主事業の収益力強化等の経営改善に取り組む必要がある。

## (1)業務に関する取組

## 目標「山村都市交流の森利用者の拡大」

中期経営計画 における取組	京都市北部山間地域における豊かな自然や山村文化を積極的に活用し、都市住民への魅力発信により、山村都市交流の森の利用者拡大を図る。 特に、国立公園の指定を機に、新たな取組を検討、展開し、収益施設の利用者拡大につなげる。
当年度目標	京都市左京区北部山間地域の各種団体と連携した新たなイベントへの取組や、体験農園の運営等により地域の魅力をより一層都市住民に発信し、山村都市交流の森の入園者数の増加を目指すとともに、利用者の利便性を高めるため、光ファイバーを利用したWi-fi設備の整備など施設の整備・改修を行う。 また「京都丹波高原国立公園」の南の入口としての案内機能を高めることや、第1種特別地域である八丁平湿原のPRなどによって、収益施設を含めた利用者拡大に努める。
当年度結果 (※)	樹高日本一が確認された花脊の三本杉の見学会等を開催したため、イベント参加者は前年度に比べて増加したが、台風21号による倒木等の影響でトレイルランニング大会が中止になるなどして、交流の森入園者は減少した。 また、WI-FI設備の整備など利用者の利便性向上を進めた。

指標①	山村都市交流の森入園者数 (単位：人)							
中期経営計画	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度		
	—	33,000		34,000		35,000		
実績	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	39,299	33,000	38,594	35,000	37,618	36,000	—	35,962

指標②	宿泊施設利用者数 (単位：人)							
中期経営計画	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度		
	—	11,000		12,000		13,000		
実績	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	12,453	11,000	12,451	13,000	9,960	13,000	—	9,068

## (2)財務に関する取組

主要財務数値							(単位:千円)
	平成27年度		平成28年度		平成29年度		備考欄
	予算	実績	予算	実績(※)	予算	実績(※)	
経常収益	83,000	120,238	83,000	114,005	85,000	107,199	
経常費用	81,000	110,516	81,000	103,422	88,000	108,186	
当期経常増減額	2,000	9,722	2,000	10,583	△3,000	△986	
当期正味財産増減額	2,000	7,925	2,000	8,785	△3,000	△2,784	
資産合計	—	127,616	—	123,054	—	122,563	
負債合計	—	39,242	—	25,895	—	28,188	
正味財産	—	88,374	—	97,159	—	94,375	
うち累積損益額	—	38,374	—	26,051	—	24,994	

## 目標「経営の安定化」

中期経営計画 における取組	一般正味財産が平成25年度末で、△1,313千円であったが、平成26年度で解消する見込みである。今後は、公益財団法人としての基準を満たしながら、収益事業の充実により、必要な運転資金を確保し、経営を安定させる。
当年度目標	経営をさらに安定させるため、平成29年度も収益事業の増収増益を目指すとともに、公益目的事業においても、新たな財源の確保に努める。また、前年度までの公益目的事業の黒字を財源として施設内整備と施設修繕を行う。
当年度結果 (※)	収益事業は、台風災害等による影響で事業収益が減少し、また、冬期の低温により設備が破損し、修繕費用が発生するなどして赤字となった。 また、公益目的事業では、施設の整備修繕計画を策定し、資金の確保に必要な規程を整備した。

指標	一般正味財産期末残高							
	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
中期経営計画	—	5,000	6,000	7,000				
実績	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	5,886	5,000	15,538	7,000	26,051	8,000	—	24,994

## (3)組織に関する取組

## 目標「職員研修の充実」

中期経営計画 における取組	職員が、事業の企画運営、経営に必要な知識を得るため、先進事例の調査を積極的に行うとともに、森林文化のインストラクターとしての資質の向上など研修や講習会等に参加する。 また、職員は技術の習得と視野の拡大を図るため、年間を通じて固定した業務に就くのではなく、季節や業務の繁忙、技能の程度に応じて、臨機応変に配置換えを行うものとする。
当年度目標	前年度に引き続き、京都市等が実施する研修会への参加と全職員への伝達研修と併せて、森林文化に係るインストラクターとしての資質向上や宿泊者及びイベント参加者への対応において必要な知識・資格の習得に努める。
当年度結果 (※)	京都市外郭団体講習会や京都市職員研修に参加し、全職員に伝達研修を実施した。また、外部講師を招いて財務会計の研修を2回、マーケティングの研修を1回開催した。その他、普通救命講習を実施する他、環境省から自然公園指導員として1名の委嘱を受けている。

指標	研修への参加 (単位：回)							
	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度		
中期経営計画	—	3		3		3		
実績	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	1	3	1	3	3	3	—	3